

あなたの人生において大切な方々 - HIV と生きる、パート 2

あなたは独りではありません。多くの方が HIV とともに生きています。HIV 感染者の多くは治療を受け、自己管理をすることで長期にわたって健康的な生活を送っています。



友人と家族

HIV に感染したことで友人や家族が離れていってしまうのではないかと恐怖を感じるかもしれません。過去のドラッグ使用や性行為を非難されたり、罪悪感に苛まれるのではないかと心配するかもしれません。しかし、友人や家族は、あなたが HIV と向き合うことで受けるストレスを理解し、生涯にわたって

サポートしてくれる事に気づくはずですよ。

同僚

職場にご自身の HIV 感染状態を報告するかどうかは、個人的な判断によります。同僚たちから協力を得ることも可能でしょう。一方で、逆の反応も想定できます。同僚たちのあなたへの接し方が変わってしまう場合もあります。自分は HIV とどのように向き合うのかを学び、誰に伝えるのかを慎重に考えてください。

子供

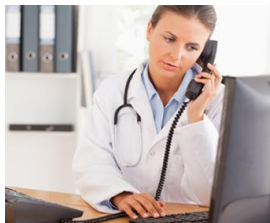
子供のことをよく理解しましょう！子供を理解することで、子供は HIV について、そしてあなたが HIV とどう向き合っているのかについて理解することができます。子供は自分自身の健康について心配しがちです。あなたと一緒に生活していても、HIV は「伝染らない」事を必ず伝えましょう。



子供の担任、学校長にあなたが健康に問題を抱えていることを知らせましょう。子供の学校での生活において、彼らはサポートしてくれます。

HIV 陰性のパートナー

性的な関係にあるカップルのうち、1 人は HIV 陽性で、もう 1 人は陰性である関係性を「混合状態」といいます。混合状態にあるカップルの HIV 感染リスクは極めて高いものですが、リスクを低減させることが可能です。パートナーと安全な性交渉と HIV 予防について、お互い正直によく話し合うようにしましょう。



HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。

Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN276201500011I awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.